

編集発行責任者 吉田 和彦

〒125-8506 東京都葛飾区青戸6-41-2

TEL:03-3603-2111(代表)

URL:<http://www.jikei.ac.jp/hospital/katsushika/>

E-mail:aotokouhou@jikei.ac.jp

## INDEX

01. 院長就任のご挨拶
02. 外科診療部長就任挨拶、部署紹介、糖尿病看護認定看護師 取り組み
03. 診療科紹介
04. 連携病院のご紹介

## 院長就任のご挨拶

平

平成30年4月より、院長に就任いたしました吉田和彦と申します。一言、就任のご挨拶をさせていただきます。当院は、平成24年1月に「東京慈恵会医科大学葛飾医療センター」としてリニューアルオープンいたしました。前身となる「東京慈恵会医科大学附属中川堤療養所」の開院以来、葛飾区を中心とした区東北部医療圏の中核を担ってまいりました。患者さんの約80%が葛飾区内から来院される典型的な地域密着型の病院です。



院長

吉田 和彦

高齢化の進展により疾患構造の変化が生じ、必要とされる医療の内容は「病院完結型」から、地域全体で治し、支える「地域完結型」へと変わりつつあります。当院は急性期病院として、医療、介護、住まい、予防、生活支援サービスからなる地域包括ケアシステムの中で、地域のニーズに応える存在となるよう、日々鋭意、努力しております。

「総合診療体制・救急医療体制を強化し地域密着型病院を目指す。同時に医療者への全人的・総合的教育を提供する。」をビジョンに掲げ、「地域と共生し進化・創造し続ける病院」を目指します。保有する医療資源を最大限活用しつつ、周辺医療機関と連携し、引き続き、地域のニーズに応える専門性と質の高い医療を提供してまいります。

今後とも、旧来に倍するご指導、ご鞭撻のほど、お願い申し上げます。

## 外科診療部長就任挨拶



小川 匡市 診療部長

4月から吉田和彦病院長の後任として外科診療部長を拝命いたしました。

良好な医療（サービス）を提供し、患者さんとの真の協力関係（パートナーシップ）の構築に努める。を掲げてまいりました。この指針に則し、患者さんにもたらす利益を第一に、診療の質をいかに向上させるかという命題に日々真摯に向き合いながら、医療事故・過誤防止といった安全域の確保に関しても地道に取り組んでいきたいと思っております。

生まれも育ちも向島でございますので、葛飾界限には、知人も多く大いなる覚悟を持って地域医療に臨みたい所存でございますので、今後のご指導のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

## 部署紹介

### ●中央検査部

病院に来院して検査を受けるとなると、血液検査・レントゲン検査・尿検査・CT検査・MRI検査・内視鏡検査・超音波検査等々色々ありますね。多分ここで働いている職員でもどの部署が何を担当しているのかわからないと思います。「中央検査部」が患者さんと接するのは、採血・心電図・心臓超音波・呼吸機能・脳波・筋電図検査です。尿検査も行っています。検査内容が不明になったら「中央検査部」受付で聞いて下さい、ご案内いたします。「中央検査部」は臨床検査技師（国家資格）23名で運営されております。検査技師は血液・生化学・尿一般・生理（心電図等）・微生物・輸血の各部門に数名ずつ配属され、認定資格を有した専門性の高い業務を行っております。検査業務以外にも患者支援としてNSTやICT、糖尿病教室へ参画しております。また、遺伝子検査やアレルギー検査等は外部へ委託しております。他に、関連医療機関との連携として、心臓超音波検査や脳波検査等を受け付けております。是非ご利用下さい。



歳川 伸一 技師長

## 糖尿病看護認定看護師 取り組み

### 糖尿病の現状と課題

国民の6人に1人は糖尿病が疑われています。その中で23.4%の人は治療を受けていません。また40代と働き盛りの年代では48.5%つまり半数の人は未治療なのです。その理由として、糖尿病だと感じる自覚症状が無いため、セルフケアに繋がりがづらいのです。

### 糖尿病看護認定看護師の役割

糖尿病が自分の事と捉えられ、どのように生活すれば良いのかを一緒に考えるのが役割です。つまり糖尿病を持ちながら合併症の発症と進展を防ぎ、その人らしく健やかな生活を維持できるように、生涯続くセルフケアや療養生活を支援致します。

※合併症とは 1) 糖尿病網膜症—失明 2) 糖尿病腎症—透析 3) 糖尿病神経障害—壊疽、下肢切断 4) 動脈硬化性疾患—脳梗塞・心筋梗塞など

### 糖尿病支援看護外来

糖尿病療養指導士と協力しながら、医師・管理栄養士と共に専門外来を行っています。相談希望の方は、糖尿病代謝内科医師へご相談下さい。（真田史織）



world diabetes day

世界糖尿病デーのシンボル  
「ブルーサークル」

## 診療科紹介

### ●産婦人科

周産期の診療、助産師外来が開設されました。よりきめ細かい指導を行っています。合併症を有する妊娠については他科と連携して管理を行っておりますが、すべての合併症に対応することはできませんので、当科として最善の医療を提供できるよう、より高次の医療機関とも連携をとりながら診療にあたっております。婦人科領域では特に婦人科悪性疾患について進行がん、再発がんを含めて集学的治療を目指しており、診断から治療まで一貫した管理を行っています。初期の体癌については、保険適応のある範囲で腹腔鏡手術を導入しております。一方良性疾患については、症例に応じて腹腔鏡手術を取り入れ、治療の選択肢の一つとして可能な範囲でご提示しております。



新美 茂樹 診療部長

### ●診療実績 (2017年度)

- ・分娩件数:292件
- ・手術件数:のべ651件 (悪性腫瘍手術97件)  
腹腔鏡下子宮体がん手術の認可施設  
婦人科悪性腫瘍専門医研修施設、腹腔鏡下手術技術認定医研修施設
- ・婦人科悪性腫瘍研究機構臨床研究参加施設であり、婦人科悪性腫瘍の集学的管理に重点をおいています (放射線治療、各種抗がん剤を含めて手術術式の改良など安心、安全を追求しながら悪性腫瘍の管理を行うことを目的にした臨床研究をすすめている)



### ●循環器内科

東京城東医療圏の循環器診療の中核的な役割を担っており、東京都CCUネットワークの加盟施設です。日本循環器学会の循環器専門医研修施設ならびに日本心血管インターベンション治療学会の研修施設でもあります。あらゆる循環器疾患に対応しておりますが (心臓外科除く)、特色としては4床のCCUベッドを備え、心筋梗塞や狭心症に対しては、365日24時間カテーテル治療ができる体制をとっています。また松尾征一郎医師をリーダーとする不整脈チームが、心房細動や発作性上室頻拍、心室期外収縮などの不整脈に対してカテーテルアブレーション (焼灼術) を、年間250例施行しており、都内でも有数の豊富な症例数を経験しています。徐脈性不整脈にはペースメーカー植え込み手術を行っています。さらに、高齢患者さんなど侵襲を最少限にしたい場合、リードレスペースメーカーの挿入も行っています。肺血栓塞栓症や大動脈解離についても内科治療で対処可能な症例は受け入れています。今後心房細動治療としてクライオアブレーションや、冠動脈の診断機器として光干渉断層法 (OCT) の導入を予定しております。他に外科系の入院患者さんに対して、心機能評価や術前術後管理のサポートを行っています。集中治療室や病棟では医師・看護師・薬剤師・臨床工学士など様々な職種のスタッフとともにカンファレンスを行い、安全かつ最善の医療の遂行を心掛けています。

循環器について不明な点があれば、重症・軽症に係らずご相談をお待ちしております。

### ●診療実績 (2017年度)

平成29年1月～12月の外来患者数1144人、入院患者数1016人、総カテーテル件数783例、冠動脈撮影診断348例、カテーテル冠動脈形成術178例、カテーテルアブレーション250例、ペースメーカー植え込み術30例



関 晋吾 診療部長

## 連携病院のご紹介

### えびさわ内科クリニック 院長 海老澤 高憲

皆様こんにちは、院長の海老澤高憲です。私は、東京慈恵会医科大学葛飾医療センターを中心に、糖尿病・代謝・内分泌内科ならびに総合内科の診療に携わった後、平成27年5月、親しみのあるこの葛飾区青戸の地に当クリニックを開院いたしました。早いもので3年が経ち、大変多くの患者様を診させていただきました。

これまでに当院が特に力を注いできたのが、糖尿病や高血圧症、脂質異常症などの生活習慣病を中心とした療養生活指導です。当院では、医師以外にも糖尿病療養指導士と臨床検査技師が常在しており、患者様の生活情報をお聞きして食事療法や運動療法など生活指導を行っています。また、インスリン治療が必要な患者様には、自己注射や自己血糖測定の指導も行っていますので、入院することなく外来にてインスリン導入を行うことができます。甲状腺疾患に関しては、エコーと甲状腺ホルモンの迅速検査を行っており、迅速に診断し早期に治療を始めることが



できます。当クリニックでは、丁寧な診療とわかりやすい説明を心がけております。不安なことやわからないことは遠慮せず何でもおっしゃって下さい。

地域の皆様のかかりつけ医として、スタッフ一同頑張りますのでよろしくお願い致します。



### 東立病院 院長 森田 一

当院は、昭和28年に開設して以来、地域の皆様との心のふれあいを大切にし、暖かい医療をご提供することを心掛けてきました。

そして、常に医療レベルの向上に努め、患者様に安心して診療を受けていただく体制づくりにも留意してまいりました。日本では高齢化と少子化時代を迎え、健康管理に対する関心は年々高まっております。そこで、単純な治療に止まらず専門医による一貫体制のアフターケアを備えた病院の存在が重要になると考え、健康診断や成人病検査などの健康管理やカウンセリングなどを通じて患者様のお役に立ちたいと考えております。当院は、患者様のお立場に立って診療させていただくことを心掛け、症状を的確に理解し、診療方針等もご納得いただけるまでご説明致します。また、人工透析室（22床）を設けており、慢性腎臓病等の診断・治療にも力を入れて診療を行っております。

地域の皆様の健やかな毎日を応援するため、東京慈恵会医科大学葛飾医療センターをはじめ、さまざまな医療機関と連携し、慢性病や生活習慣病等の予防・診断・治療に注力していく所存ですので、安心して気軽に受診していただければ幸いです。

今後も地域に密着した暖かい医療、信頼できる医療のご提供を心掛けてまいりますので、どうぞよろしくお願い致します。

